



病児保育室

GEOだより

第37号
令和4年
1・2月号

年が明けてひと月が経ちましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。今シーズンは雪に苛むことは少ないようですが、トンガ海底火山の大噴火があったり、**新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)**や**感染性胃腸炎**が流行したり、何かと大変な状況ではないかと思われます。お子さまだけではなく保護者の皆様も外出できず、自粛要請が続き、心身ともに非常に苦しく、辛い時期かと存じます。そんな昨今ではございますが、「**明けない夜はない、止まない雪はない**」を信条に、今までできなかった楽しいイベントを未来に託し、それを糧として皆様と一緒に乗り切れたら幸せです。それでは、遅くなりましたがジオだより新年号が始まります。

糸魚川子どもクリニック 病児保育室GEO 代表 渡辺 祐紀



(COVID-19) 新型コロナウイルス感染症 速報

オミクロン株の特性とは？

世間を騒がせているこの株(株=ウイルスの種類のこと)は、**従来のものより感染拡大が速く、小児にも感染しやすい**と報告されています。それゆえ、**クラスター発生**の**リスクが高い**と考えられています。ご家庭などでの集団発生を防止するためにも、お子さまの様子がいづもと違うなと思われましたら**早めに医療機関を受診**するようにしましょう。

濃厚接触者への連絡法が変わりました

今までは**保健所**が聞き取りを行い、**全ての濃厚接触者に連絡する**という方式でした。しかし、1月からの大流行ゆえに保健所業務が膨大になってしまったため、**『発症者が、濃厚接触者に該当する方へ連絡する』方式へと変わりました**。突然、皆様のもとに連絡が来るかも知れませんが、慌てず落ち着いて対応しましょう。尚、ご不明な点があれば保健所にお問い合わせください。

特定の薬局で新型コロナウイルス抗原検査が無料でできます

糸魚川市内では南押上のカワセミ薬局などが該当します。**常時対応ではございません**ので、検査をご希望になる際は**事前に薬局へお問い合わせ**くださいませ。

特集 胃腸炎ってどんな病気？

この冬、糸魚川市内では**胃腸炎**の流行が続いています。この病気は「**吐き下し**」と言う別名がある通りで、**嘔吐**から始まり、**下痢**、**発熱**を経て、ゆっくりと治まっていきます。**治療は対症療法のみ**で、具体的には吐き気止め・解熱剤を使いながら、水分を少しずつ摂り続けることになります。また、回復されてからも**1か月近くは便中にウイルスや細菌が出て来ます**ので、感染を広げないためにも排泄物の処理に注意を払いつつ**手洗いを十分にすることが重要**です。尚、軽症で治るケースがほとんどですが、水分が摂れずに脱水に至り入院されたり、最近では**腸管出血性大腸菌(EHEC)**によって**重症化**してしまったりするケースもありますので、**速やかに医療機関を受診**することが大切です。それでは、続いて外来診療中によく伺う質問に対してお答えしたいと思います。

よくある質問① 原因ウイルス・菌を調べてもらえますか？

胃腸炎の原因となるウイルスや細菌は無数にあります。例えば、ノロウイルス、アデノウイルス、ロタウイルス、大腸菌、ビブリオ菌、カンピロバクターなどなど。ただ、診断がついてもこれらには**特効薬がなく、基本的な治療は一緒**です。検査をして診断を付けるメリットはあまりないことをご理解くださいますととても助かります。

よくある質問② 人に感染する胃腸炎ですか？

ウイルスや細菌は人に感染して増殖し子孫を残そうとします。つまり、**人から人へ感染する**のが通常であって、**感染が広がらない胃腸炎はないもの**と考えていただいて問題ありません。もちろん、ストレス、食べ過ぎ、冷えによる腹痛や下痢のように、人に感染しない胃腸炎もあります。また、国の定める登園の明確な基準もありませんので、**医師や園の先生方の判断に従いましょう**。

糸魚川での子育てがより明るく、楽しくなる
ために本年もジオは尽力します

お母さん・お父さんの強い味方!! 糸魚川市南押上1丁目16番3号

糸魚川子どもクリニック ☎025-556-6255
病児保育室ジオ ☎025-556-6222

